





# 朝鮮民主主義人民共和国の 暫定操業水域内で操業する日本 漁船が緊急入域する場合の心得

一九七七年九月五日付、日朝漁業協議会と朝鮮東海水域...  
 一、入域までの心得  
 (1) 緊急入域する船舶は、相...  
 (2) 入域は許可を得た後に行...  
 (3) 緊急入域である場合に...  
 (4) 相手国の港内、沿岸をは...  
 (5) 相手側の指示がある場合...  
 (6) 夜間の入域は努めて避け...  
 (7) 入域した場合は、現地当...  
 (8) 許可があるまでは、絶対...  
 (9) 汚物等を海中に投棄しな...

## I 一般事項

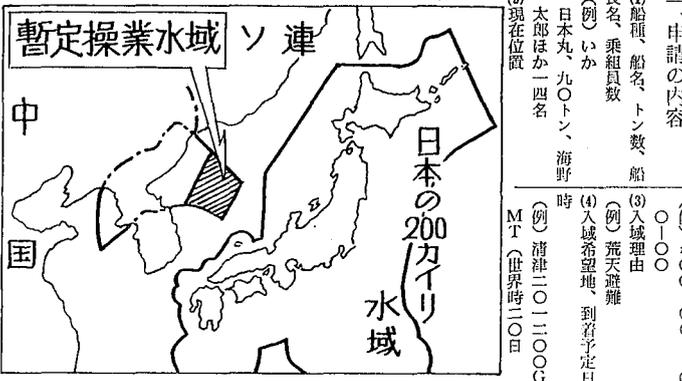
一、入域までの心得  
 (1) 緊急入域する船舶は、相...  
 (2) 入域は許可を得た後に行...  
 (3) 緊急入域である場合に...  
 (4) 相手国の港内、沿岸をは...  
 (5) 相手側の指示がある場合...  
 (6) 夜間の入域は努めて避け...  
 (7) 入域した場合は、現地当...  
 (8) 許可があるまでは、絶対...  
 (9) 汚物等を海中に投棄しな...

## II 緊急入域の申請

一、申請の内容  
 (1) 船種、船名、トン数、船...  
 (2) 入域理由  
 (3) 荒天避難  
 (4) 入域希望地、到着予定日...  
 (5) 現在位置  
 (例) 清津二〇二〇〇G  
 M T (世界時)二〇日

## III 入域の際の措置

一、国際信号旗によって、...  
 二、緊急入域する場合に...  
 三、緊急入域する場合に...  
 四、帰国後の心得  
 (1) 帰国の際には検疫所(検...  
 (2) 入域に要した費用につい...  
 (3) 請求があった場合には...  
 (4) 海上保安庁、日朝漁業協...  
 (5) その船主の負担とする。

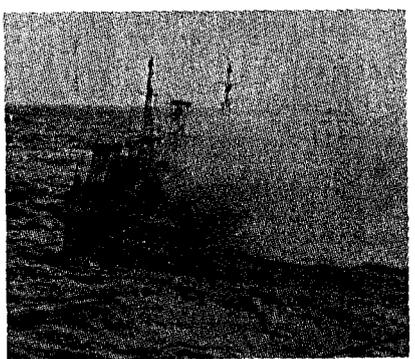


日本海西南部海域では本年「いかつり漁業」を中心とした沖合漁業が活発で盛況を呈しております。一方現在までこの種漁船による海難も相当発生しており、これからの季節風が吹く冬期をむかえて更に海難の多発が懸念されます。このため第八号管区海上保安本部において十一月一日から翌年二月末日まで環畿島周辺海域を中心とした昭和五十二年度日本海西部合同しよう戒(略称「Fしよう戒」)を例年の如く実施されます。つきましてはこの計画が十分成果をあげるため海難防止対策として下記事項の励行にて、特段のご配慮を...

## 日本海西南部 出漁船に対する救難対策

所属漁船に対する  
海難防止の指導

お願ひします。計画の内容が...  
 (1) トン数、性能等を十分...  
 (2) 安全航行のため出漁前...  
 (3) 船体、機関等の整備と点検...  
 (4) 船内乗組員の訓練...  
 (5) 船内乗組員の訓練...  
 (6) 船内乗組員の訓練...  
 (7) 船内乗組員の訓練...  
 (8) 船内乗組員の訓練...  
 (9) 船内乗組員の訓練...



荒れ狂う日本海での操業

## 出漁船による 相互救助体制の確立

各組は、巡視船による事項を主要項目とした所属...  
 (1) 海難の際には海上保安部...  
 (2) 巡視船等へ早期通報する...  
 (3) 海難発生時は所属する漁...  
 (4) 海難発生時は所属する漁...  
 (5) 海難発生時は所属する漁...  
 (6) 海難発生時は所属する漁...  
 (7) 海難発生時は所属する漁...  
 (8) 海難発生時は所属する漁...  
 (9) 海難発生時は所属する漁...

## 海難遺児に あたたかい 善意を

海難遺児にあたたかい善意を...  
 (1) 海難の際には海上保安部...  
 (2) 巡視船等へ早期通報する...  
 (3) 海難発生時は所属する漁...  
 (4) 海難発生時は所属する漁...  
 (5) 海難発生時は所属する漁...  
 (6) 海難発生時は所属する漁...  
 (7) 海難発生時は所属する漁...  
 (8) 海難発生時は所属する漁...  
 (9) 海難発生時は所属する漁...

## 通信上の留意点

海難の際には海上保安部...  
 (1) 海難の際には海上保安部...  
 (2) 巡視船等へ早期通報する...  
 (3) 海難発生時は所属する漁...  
 (4) 海難発生時は所属する漁...  
 (5) 海難発生時は所属する漁...  
 (6) 海難発生時は所属する漁...  
 (7) 海難発生時は所属する漁...  
 (8) 海難発生時は所属する漁...  
 (9) 海難発生時は所属する漁...

EMERGENCY CLEARANCE REQUEST (台風による緊急避難の場合)  
 (1) JAPANESE FISHING BOAT, NIHON-MARU, 90T CAP TARO UNNO-AND MOTHER OF OOO PREFECTURE.  
 (2) POSITION. OOO-ON, OOO-OOE  
 (3) WE ARE URGENTLY SEEKING SHELTER PORT IN CHUNGIN AT 12:20TH. (急病人発生の場合)  
 (4) PURPOSE. MEDICAL TREATMENT FOR ONE CREW MEMBER OOO(AGEOO) SUFFER FROM JAUNDICE SERIOUS CONDITION. (おうだん)

呼出符号 H M H  
 呼出周波数 五〇〇K H Z  
 通信周波数 四七五K H Z  
 (1) 海難発生時は所属する漁船...  
 (2) 海難発生時は所属する漁船...  
 (3) 海難発生時は所属する漁船...  
 (4) 海難発生時は所属する漁船...  
 (5) 海難発生時は所属する漁船...  
 (6) 海難発生時は所属する漁船...  
 (7) 海難発生時は所属する漁船...  
 (8) 海難発生時は所属する漁船...  
 (9) 海難発生時は所属する漁船...

電話の場合は A M H  
 一八二K H Zとする。(海...  
 一八二K H Zとする。(海...)

養魚の調餌と造粒は  
 コウベヒラガのミートチョッパーで

養魚用ミートチョッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チョッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

株式会社 平賀工作所  
 神戸市長田区水笠通5番5号  
 TEL 代表神戸(078) 921-1527

# 9月の漁況と海況

# 10月の漁況と海況

## ◎海況

※播磨灘……1～2日の観測結果では東部各層26.0℃で平年並かやや高目。北西部各層25.0℃内外で平年並かやや低目。中・南部各層25.8℃内外でやや低目に経過している。  
 ※大阪湾……16～17日の観測結果では北西部各層26.2℃で+1.3℃内外高目。中・南部各層25.8℃で中層+1.0℃、底層+1.5℃高目に経過している。  
 ※紀伊水道北部……16日の観測結果では東部(和歌山県側)表・中層26.0℃内外で+1.0℃高目、逆に底層23.5℃内外で-1.0℃低目。中～西部(徳島県側)各層26.5℃内外で中層+1.5℃内外高目、西部+1.1℃高目を示し東部の底層を除いた場合は+1.0℃～1.8℃高目に経過している。

## ◎漁況(概況)

明石瀬戸及びその東西海域では小型底曳網でメイタカレイ、アマカレイ、タコ、アナゴ、エビ、トラハゼ、カサゴ、アコウ。曳網、浮流し釣でサワラ、ハマチ。延縄でアナゴ、メバル、グチ。吾智網でマダイなど。友ヶ島水道及びその南・北海域では小型底曳網でメダイ、キス、タコ、エビ類。刺網でキス、ベラ、アマカレイ、タコ。延縄でキス、ハゼ、アナゴ、カサゴ。曳網でサワラ、ハマチ。一本釣でアジなど。沼島周辺及びその南・西海域では小型底曳網でエビ類、キス、アナゴ、ハリイカ、カマス、ガザミ。一本釣でマダイ、アジ、カワハギ、ベラ、チダイ。曳網でサワラ。磯刺網でウマズラハギ、小ダシ、アマカレイなど。鳴門海峡及びその南・北海域では小型底曳網でエビ類、カニ類、シタ類。吾智網でキス、メダイ、ノゾカ。曳網でサワラ、ハマチ。一本釣でキス、カサゴ、ベラ。延縄でトラフグ、アナゴ、カサゴ。磯刺網でベラ、キス。撒餌釣でメジロ、ハマチ、サワラなど。播磨灘中部では流し刺網でサワラ、マナカツオ、シイラ、ソーダカツオなどが主な漁獲物となっている。

## ◎各地(注:以下は1日1隻当りの漁獲量, @は平均単価, 何隻は操業隻数)

※明石浦……小型底曳網メイタカレイ13キロ@5,000@2,000, アマカレイ5キロ@3,500@1,500, マダコ5キロ@1,300, アナゴ5キロ@1,300, エビ5キロ@1,400, トラハゼ10キロ@750, 25隻(大阪湾夜曳)。メイタカレイ13キロ, アマカレイ8キロ, マダコ10キロ, アナゴ8キロ, エビ5キロ, トラハゼ10キロ30隻。(播磨灘夜曳)。カサゴ30キロ@2,000@500, アコウ5キロ@3,500, マダコ4キロ, メイタカレイ, アマカレイ8キロ, 5隻。(明石海峡夜曳) 曳網サワラ15キロ@1,000, 5隻。ハマチ13キロ@1,250, 20隻。延縄アナゴ55キロ@1,250, シログチ45キロ@350, 2隻。ペンチン漕イシカレイ20キロ@1,750, 6隻。

※岩屋……カクチシラス船曳網90～300～900～1,200キロ@450～500, 17統。小型底曳網エビ33キロ@1,700@700, ハモ, メイタカレイ, ガザミ3キロ@3,250, 30隻。各曳網サワラ15キロ@1,350, サゴシ5キロ, 目廻400～500g@800, 100隻。マルアジ13キロ@1,600, ハマチ2キロ@1,300, 20隻。延縄メバル3キロ@1,600, アナゴ10キロ@1,250, 20隻。流刺網キス15キロ@1,750, 5隻。タコ籠網40キロ@1,000, 3隻。吾智網マダイ15キロ@1キロ以上10,000, 以下4,500, 8隻。

※由良……小型底曳網メダイ25キロ@4,160, 10隻。キス4キロ@1,560, タコ8キロ@1,180, クルマエビ2キロ@5,000, シラサエビ7キロ@2,000, その他20キロ@300, 70隻。各刺網キス13キロ@1,800, 10隻。ベラ7キロ@1,260, アマカレイ3キロ@4,200, タコ4キロ@1,180, その他11キロ@800, 27隻。各延縄キス10キロ@2,200, ハゼ7キロ@540, 6隻。アナゴ12キロ@1,400, カサゴ15キロ@1,400, 5隻。各曳網サワラ8キロ@1,500, 50隻。ハマチ11キロ@2,000, 20隻。アジ10キロ@1,640, 20隻。タコ籠網45キロ@1,290, 2隻。突棒アワビ4キロ@2,910, サザエ10キロ@900, タコ4キロ@1,050, 10隻。

※沼島……小型底曳網クルマエビ3キロ@4,500, アシアカエビ5キロ@4,000, カワツエ1キロ@1,600, 小エビ2キロ@700, ガザミ15キロ@2,100, キス10キロ@600, アナゴ6キロ@700, ハリイカ8キロ@300, カマス7キロ@500, 40隻。各一本釣アジ13キロ@1,600, カワハギ40キロ@300, 60隻。ベラ10キロ@1,100(赤)300, 3隻。マダイ2キロ@4,500@3,700@3,000, チダイ1キロ@2,500, 5隻。曳網13キロ@1,400, 5隻。磯刺網ウマズラハギ40キロ@200, 15隻。カニ籠15キロ@2,100, 6隻。

※福良……小型底曳網シラサエビ10キロ@活4,500(死)2,250, カワツエビ1キロ@1,800, 小エビ4キロ@200, ガザミ3キロ@2,500, 小カニ6キロ@1,000, ウシノシタ4キロ@1,200, 27隻。吾智網キス10キロ@1,200, マダイ4キロ@3,100, 小ダシ4キロ@2,590, フカト@300, その他20キロ@800, 3隻。八田網マアジ120キロ@450, ウマズラハギ15キロ@300, 2統。曳網サワラ20キロ@1,550, 135隻。ハマチ7キロ@1,000, 3隻。各一本釣キス2キロ@1,600, カサゴ3キロ@1,100, ベラ6キロ@1,000, 5隻。撒餌釣メジロ150キロ@1,150, ハマチ15キロ@1,200, サワラ50キロ@1,550, 12隻。各延縄トラフグ15キロ@4,650, 小フグ10キロ@3,100, 10隻。アナゴ5キロ@800, カサゴ5キロ@1,100, 2隻。各刺網ベラ(青)12キロ@1,200(赤)20キロ@800, 4隻。キス3キロ@1,200, 雄10キロ@800, 4隻。各突棒タコ5キロ@890, アワビ10キロ@2,200, サザエ5キロ, セトガイ30キロ@450, 6隻。ウニ10箱1箱1,000, 6隻。

※五色町(鳥飼支所)……サワラ流し刺網, 上旬26尾(目廻1,630g)@738, 26隻。中旬22尾(目廻1,780g)@1,026, 22隻。下旬19尾(目廻1,850g)@924, 27隻。

## ◎本月の特記事項

※サワラ……本年は春期(内海回遊産卵魚群)の豊漁に引続き秋期(内海回遊来成個体群)も、とくに豊漁で鳴門海峡周辺域では例年曳網の出漁船25隻内外に対し連日150隻内外、大阪湾北西部、播磨灘東部域では170隻内外、友ヶ島水道周辺では50隻内外の県内出漁船をみ近年にない活況を呈している。  
 ※タチウオ……例年紀伊水道北部、大阪湾北部(神戸港沖)播磨灘東部では盛漁期に入り連日数百隻の出漁船をみ大いに活況を呈するのが常であるが本年は魚群量が極めて薄くまた魚体も小型魚(紐タチ)のみで全くの不振である。しかしこれら県下の曳網船は各地のサワラ豊漁に救われている。

## ◎海況

※播磨灘……3～4日の観測結果では東部各層24.6℃で+0.7℃高目。北西部各層25.0℃で+0.6℃高目。中・南部各層24.4℃で平年並かやや高目を示し全域にわたって各層上下水温差は殆どなくやスローペースで冬型に移行している。  
 ※大阪湾……24日の観測結果では、全域にわたって各層22.8℃内外で上下水温差並びに地域的格差は殆どなく播磨灘とは逆に前月よりやや急速に下降し平年分布で経過している。  
 ※紀伊水道北部……24日の観測結果では東部(和歌山県側)各層23.2℃で+0.7℃高目。中部各層23.4℃+1.0℃内外高目。西部(徳島県側)各層23.0℃で+1.0℃内外高目を示し前月に引続き全域にわたって+0.7℃～1.2℃の高目に経過している。

## ◎漁況(概況)

中旬頃よりノリ養殖準備に入った地域もあるが、明石瀬戸及びその東・西海域では小型底曳網でメイタカレイ、アマカレイ、ウマズラハギ、アナゴ、トラハゼ、ハリイカ、ハモ、ガザミ、エビ。船曳網でカクチシラス。吾智網でメダイ。曳網・浮流し釣でサワラ、サゴシ、ハマチ。一本釣でカサゴ、ウマズラハギ、ススキ。延縄でトラフグ、アナゴ、カサゴ、シログチ。刺網でキス、メイタカレイ、アマカレイなど。友ヶ島水道及びその南・北海域では小型底曳網でウマズラハギ、キス、メイタカレイ、イカ類、エビ類。刺網でキス、チヌ、メイタカレイ、アマカレイ。延縄でトラフグ、カサゴ、シログチ。曳網でサワラ、ハマチ。一本釣でアジなど。沼島周辺及びその南・西海域では小型底曳網でエビ類、ハリイカ、カマス、アナゴ。一本釣でメダイ、ウマズラハギ。延縄でアナゴ、コチ。刺網でウマズラハギ、メダイ、ヒラメ。曳網でサワラ、サゴシなど。鳴門海峡及びその南・北海域では小型底曳網でエビ類、カニ類、シタ類。吾智網でメダイ、カマス、カサゴ、コシヨオタイ。曳網でサワラ、サゴシ。一本釣でメダカ、タコ、カマス、撒餌釣でハマチ、メジロ、小タイ、チヌ。刺網でベラ、メイタカレイ、アマカレイ、カサゴなど。播磨灘中部では流し刺網でサワラ、マナカツオ。延縄でトラフグなどが主な漁獲物となっている。

## ◎各地(注:以下は1日1隻当りの漁獲量, @は平均単価, 何隻は操業隻数)

※明石浦……メイタカレイ6キロ@4,000@2,000, アマカレイ8キロ@2,800@1,500, タコ10キロ@1,250, ウマズラハギ10キロ@750, アナゴ10キロ@1,800@500, トラハゼ20キロ@500@100, ハリイカ10キロ@2,000@800, エビ8キロ@1,350, 20隻。(大阪湾北西部夜・昼曳)メイタカレイ7キロ, アマカレイ10キロ, タコ7キロ, ウマズラハギ20キロ, トラハゼ10キロ, アナゴ5キロ, ハリイカ10キロ, エビ10キロ, 20隻。(播磨灘東部夜・昼曳)カサゴ20キロ@2,000@500, タコ7キロ, アナゴ5キロ@1,250, メイタカレイ5キロ, ウマズラハギ30キロ, 5隻。(夜・昼曳)曳網サワラ10キロ@1,400, サゴシ20キロ@900, 50隻。各一本釣ウマズラハギ40キロ@1,250, 2隻。ススキ10キロ@1,400, 5隻。延縄アコウ45キロ@850, シログチ100キロ@450, 2隻。ペンチン漕イシカレイ15キロ@1,250, アカエイ10キロ@500, 6隻。

※岩屋……船曳網カクチシラス300～400キロ@600～700, 18統。小型底曳網エビ23キロ@1,200, ハモ3キロ@2,000, アナゴ3キロ@800, ガザミ2キロ@1,500, 30隻。吾智網メダイ3～5キロ@5,500@4,000, 9隻。曳網サワラ8キロ@1,300, サゴシ4キロ@700, 80隻。一本釣カサゴ3キロ@1,500, ハマチ4キロ@1,150, 25隻。各延縄トラフグ7キロ@5,500, 12隻。アナゴ17キロ@700, カサゴ6キロ@1,500, 3隻。アマカレイ18キロ@2,250, キス15キロ@1,500, ベラ17キロ@1,000, 8隻。各刺網キス18キロ@1,250, 10隻。メイタカレイ10キロ@2,500, アマカレイ20キロ@2,150, 1隻。突棒アマカレイ3キロ@1,150, 4隻。

※由良……小型底曳網ウマズラハギ570キロ@50, 10隻。キス5キロ@1,500, シラサエビ6キロ@1,820, メイタカレイ2キロ@3,300, ハリイカ7キロ@1,900, その他20キロ@400, 70隻。各刺網キス15キロ@1,800, 10隻。チヌ5キロ@2,100, メイタカレイ2キロ@3,300, アマカレイ5キロ@2,400, その他4キロ@800, 27隻。各延縄トラフグ12キロ@4,400, 2隻。カサゴ15キロ@1,020, アナゴ7キロ@1,280, シログチ46キロ@400, 8隻。各曳網サワラ10キロ@1,150, 60隻。ハマチ15キロ@1,500, 20隻。一本釣アジ10キロ@1,820, 20隻。突棒アワビ5キロ@2,450, サザエ8キロ@900, タコ3キロ@1,300, 5隻。

※沼島……小型底曳網カワツエビ2キロ@1,600, シラサエビ8キロ@3,500, クルマエビ1キロ@5,000, アシアカエビ2キロ@4,000, ハリイカ10キロ@525, キス5キロ@600, アナゴ2キロ@700, 40隻。曳網サワラ5キロ@1,500, サゴシ5キロ@1,000, 3隻。一本釣メダイ大・中・小3キロ@5,000@4,000@3,000, チャリコ3キロ@2,200, 60隻。延縄アナゴ25キロ@700, コチ2キロ, @1,600, 3隻。刺網ウマズラハギ55キロ@400, マダイ2キロ, ヒラメ2キロ@3,500, 18隻。

※福良……小型底曳網シラサエビ10キロ@3,720, カワツエビ1キロ@800, 小エビ10キロ@200, ガザミ3キロ@2,500, 小カニ3キロ@1,000, アシアカエビ8キロ@1,200, 小エビ活3キロ@600, 26隻。曳網サワラ20キロ@1,330, サゴシ5キロ@800, 110隻。一本釣タコ12キロ@1,250, 15隻。キス3キロ@1,800, 8隻。ハリイカ4キロ@700, 5隻。各延縄トラフグ8キロ@6,300@4,290, 13隻。アナゴ6キロ@700, トラハゼ3キロ@250, カサゴ1キロ@1,000, 1隻。各刺網ベラ(青)8キロ@1,200(赤)20キロ@800, 25隻。メイタカレイ5キロ@2,500, アマカレイ5キロ@1,200, カサゴ5キロ@1,000, 3隻。吾智網カマス500キロ@700, カサゴ6キロ@800, 5隻。撒餌釣ハマチ120キロ@1,250, メジロ50キロ@1,000(赤)100, アナゴ1,750, チヌ2キロ@1,600, 13隻。(4～5隻1箱)突棒タコ6キロ@1,250, アワビ4キロ@2,200, 15隻。ウマコ120キロ@1,000, 5隻。ウニコ箱1箱1,000, 5隻。

※五色町(鳥飼支所)……流し刺網サワラ上旬9尾(平均目廻1.96キロ)@981, 16隻。中旬17尾(2.06キロ)@886, 15隻。下旬18尾(2.00キロ)@952, 21隻。

## ◎本月の特記事項

※サワラ……前月に引続き豊漁が持続し、とくに本月に入り本年産サゴシ(5～6月発生)の才魚、体重400～600g)群の添加をみ近年にない好調な釣獲を示しなかでも神戸市塩屋沖並びに鹿角川周辺海域では旬に1日1隻50～70尾の釣獲をみた。  
 ※マダコ……明石瀬戸周辺海域では春期より不振が続き5月に一時停滞したものの成漁期に当たる7～9月には昨年の1/4程度の漁獲となりわけ播磨灘東部(明石市西部地先)は全くの不漁である。  
 ※ウマズラハギ……昨年は5月より内海各域に爆発的な大群の来遊をみしははは底曳網で大入網し支障をきたしたが、本年は皆無であったが本月に入り各地で好漁が目立ち始め、とくに友ヶ島南部では1日1隻600キロ内外の入網で県下全域の主要漁獲対象魚となった。  
 ※トラフグ……本月に入り各地で延縄漁が開始され本年は魚群の来遊量も多いよう順調な滑出しを示している。

